

【別紙1】令和2年度 財務書類に関する情報①

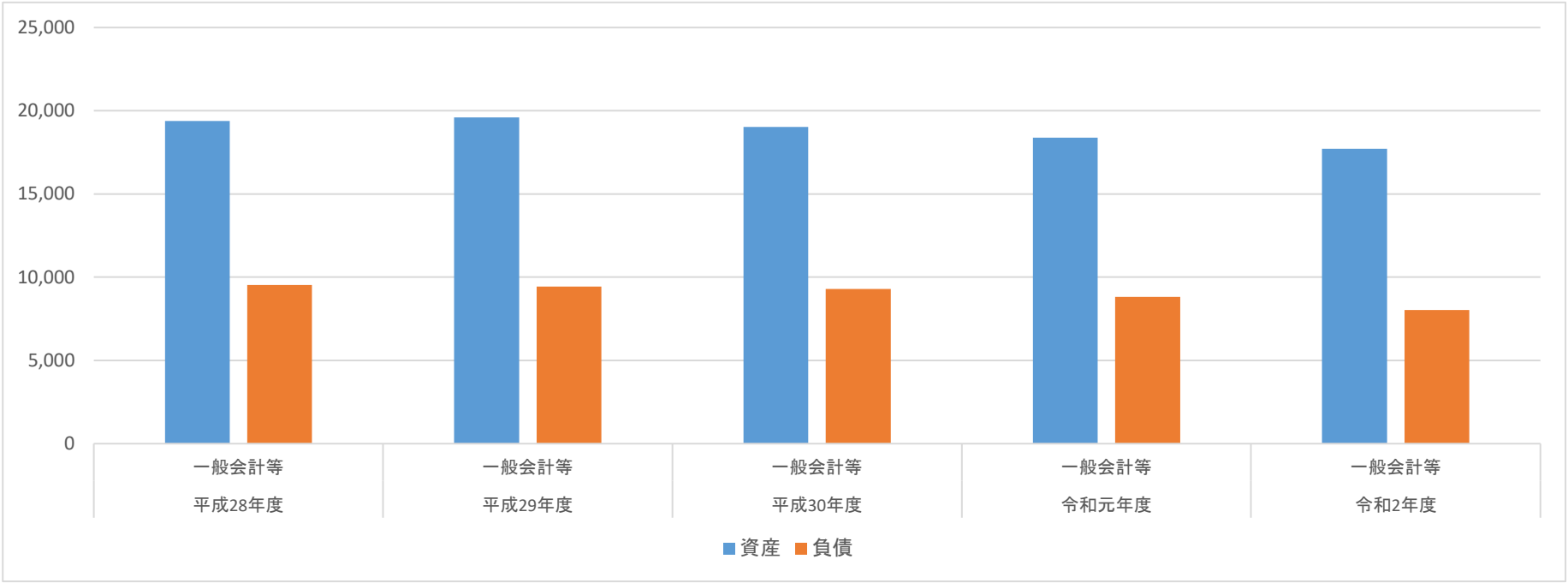
団体名 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合
団体コード 199427

人口	319,572 人(R3.3.31現在)	職員数(一般職員等)	- 人
面積	- km ²	実質赤字比率	- %
標準財政規模	- 千円	連結実質赤字比率	- %
類似団体区分	-	実質公債費率	- %
		将来負担比率	- %

附属明細書・注記・固定資産台帳の公表状況		
附属明細書	注記	固定資産台帳

1. 資産・負債の状況

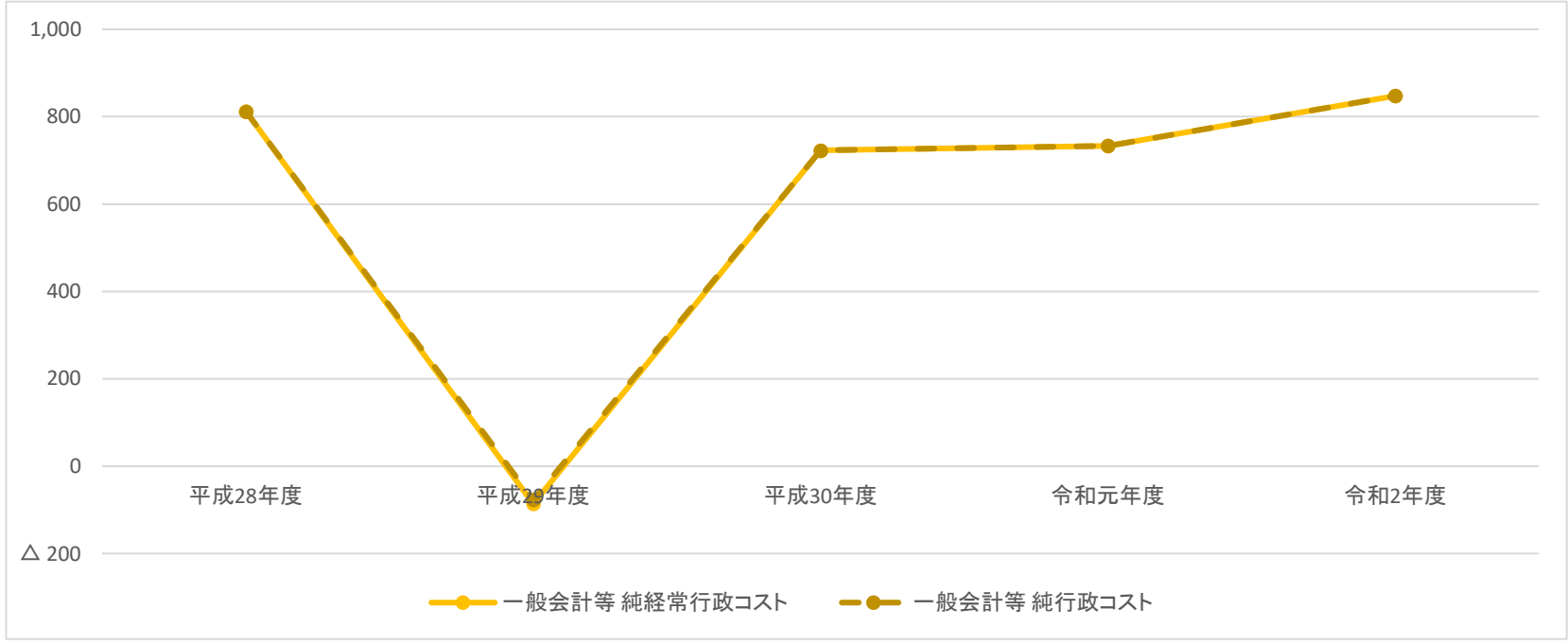
		(単位:百万円)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計等	資産	19,379	19,602	19,028	18,385	17,718
	負債	9,524	9,430	9,297	8,816	8,019



分析:
平成29年度以降、有形固定資産の減価償却により、資産の額が微減しています。
期間を通じて、負債の額は減少しています。これは、新たに地方債を発行することなく毎年償還していることによるものです。
資産の額に対して負債の額は約半分となっており、今後は償還による負債額の減少が見込まれます。

2. 行政コストの状況

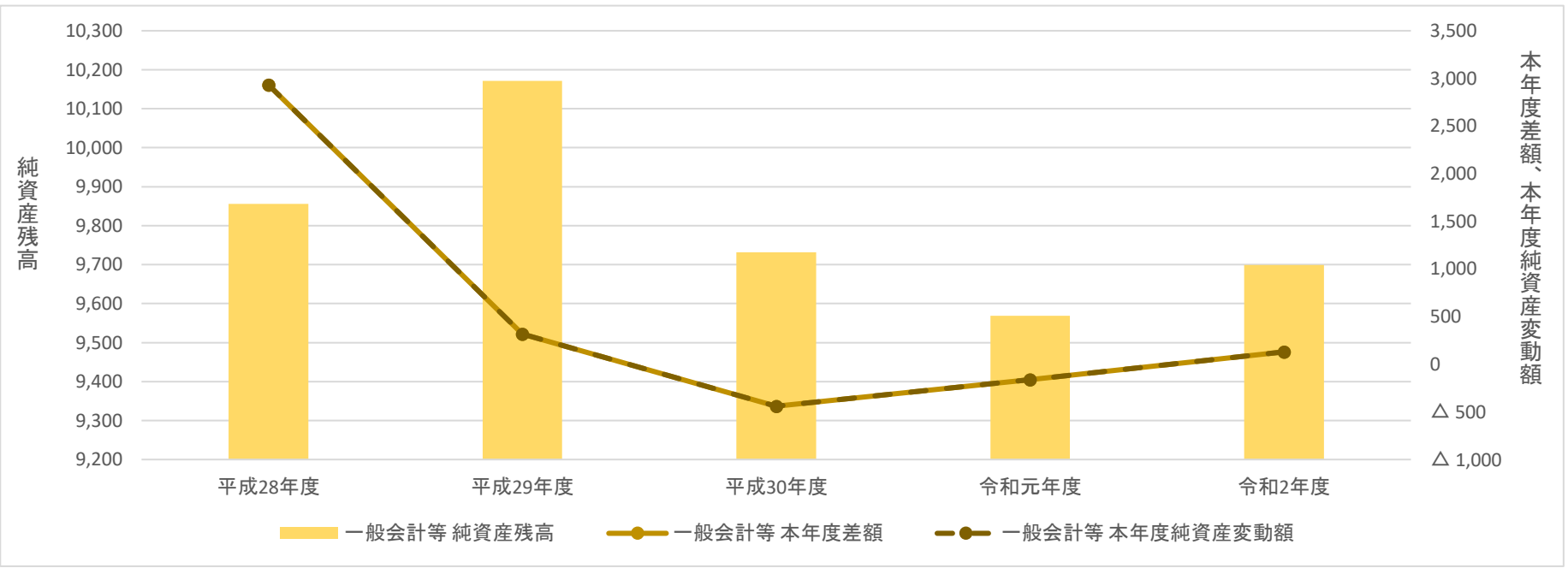
		(単位:百万円)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計等	純経常行政コスト	812	△ 86	723	733	848
	純行政コスト	812	△ 77	723	733	848



分析:
平成29年度は、取得した有形固定資産の減価償却が発生していない為、純行政コストがマイナスの値となっています。
令和2年度は補助金等の増加により、純行政コストが増加しています。

3. 純資産変動の状況

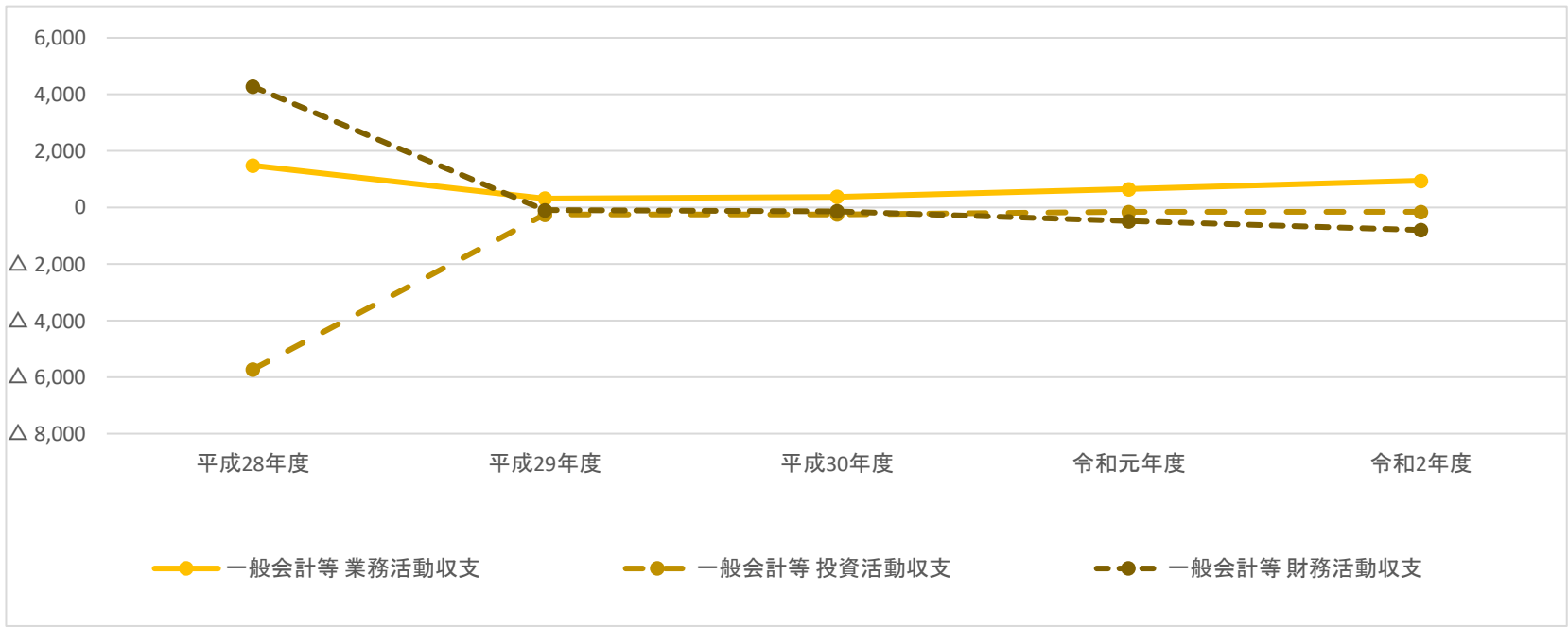
		(単位:百万円)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計等	本年度差額	2,932	316	△ 440	△ 162	130
	本年度純資産変動額	2,932	316	△ 440	△ 162	130
	純資産残高	9,856	10,172	9,731	9,569	9,699



分析:
28年度は財源(負担金・国県等補助金)収入が大きく、純資産変動額の値がプラスに大きくなっています。
29年度は前述の通り減価償却費が発生しなかった為、純資産残高の値が大きくなっています。
30年度、令和元年度は純資産変動額がマイナスとなり、貸借対照表の純資産を費消しました。
令和2年度は負担金による財源が増加したことにより、純資産変動額はプラスとなりました。

4. 資金収支の状況

		(単位:百万円)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計等	業務活動収支	1,485	316	377	655	948
	投資活動収支	△ 5,730	△ 250	△ 240	△ 153	△ 153
	財務活動収支	4,279	△ 93	△ 134	△ 481	△ 797



分析:
期間を通じて、業務活動収支はプラスの値で推移しています。28年度は財源(負担金)収入により、他の年度より値が大きくなっています。
また、投資活動収支は、期間を通じてマイナスの値であり、減少傾向にありますが、これは公共施設等整備費支出によるもので、行政サービス提供に必要な資産の獲得等に用いられた支出であり、長期の計画を基に支出されるものです。28年度は施設立替により、当該支出が大きくなっています。
財務活動収支は、地方債償還支出によるもので、償還完了まで確定額で支出されます。28年度は地方債借入があったことにより、プラスの値となっています。